

展示品の
みどころ

も ぞう きんぎんかざりのおうとう
模造 金銀荘横刀



木製 黒漆塗・金銀平脱(鞘) 鞘長39.1cm 明治8年(1875)
銅製・鍍金(金具) 把長14.9cm 奈良博覧会社製作
鉄製 鍛造(刀身) 刃長35.2cm 当館

「金銀荘」の名のとおり、漆黒の地に金銀の文様が映える高貴な趣の刀である。

本品は、正倉院宝物の金銀荘横刀を模造した作品。明治8年(1875)、奈良博覧会への宝物出品を機に、奈良博覧会社の付属事業として製作された宝物の模造の1つである。この事業では在地の工芸家を中心に製作が行われた。

宝物は、華やかな装飾から儀式用の刀と考えられるものだが、本品でもその最大の特徴である装飾の再現に意が尽くされる。鞘は木製黒漆塗で、瑞花や飛雲、霊獣の姿を金銀の鮮やかな対比をもって表す。これは、文様の形に切った金と銀の薄板を漆で塗りこめたのち文様部分の漆を剥ぎ取る「平脱」の技法によっている。葉脈や獣毛にも細かい毛彫が施され、個々の文様が生き生きと引き立つ。鞘の要所を飾る金具はいずれも金銅製で、これも魚々子地に唐草文を線刻した華やかなものである。贅を凝らした宝物の魅力を十二分に伝える優れた模造作品で、製作に当たった工芸家の手腕のほどがうかがえる。

三本 周作(当館学芸部研究員)

◆御大典記念 特別展「よみがえる正倉院宝物
-再現模造にみる天平の技-」にて展示

もんじゅ ほ さつ き し ぞう
文殊菩薩騎獅像



重要文化財
木造 彩色・截金
像高(坐高)66.2cm
鎌倉時代(14世紀)
京都 大智寺

元徳二年(1330)の奥書をもつ『橋柱寺縁起』によれば、奈良時代に行基が木津川に架けた泉大橋は、正応元年(1288)の大雨と大風でほとんど落ちてしまった。このとき西大寺僧慈心(真)の勧めで信

心ある者が、一本だけ残った行基建立時の橋柱をまつり、のちにこの橋柱を本尊の御衣木(仏像を造るための木)にして、文保二年(1318)に橋柱寺(現在の大智寺)が供養されたという。

『縁起』に本尊の制作時期は記されず、実際に橋柱を御衣木としたかも不明だが、本像は『縁起』にいう橋柱寺本尊にあたると思われる。作風も鎌倉時代末のものとして矛盾しない(獅子座は後補)。左手に蓮茎、右手に剣を執り、左足を垂下する姿は、東大寺の鎌倉復興を指揮した勸進僧・重源が快慶に制作させた奈良・安倍文殊院像に近く、やや角張った面相や上半身に着ける衣の形式、衣縁を波打たせる表現まで共通する。

安倍文殊院像に象徴される南都の文殊信仰は、勸進僧の大先達で文殊菩薩の化身とされた行基に対する信仰とも重なりながら、以後、叡尊や忍性ら西大寺を拠点とする律僧により担われていった。本像造立の背景にも、慈真の行基・文殊信仰があるのだろう。近時のX線CTスキャン調査により、像内に厨子入り文殊菩薩小像や卷子など多数の納入品が確認された。

山口 隆介(当館学芸部主任研究員)

◆名品展「珠玉の仏たち」にて展示

開館日時(4月~6月)

■開館時間 / 午前9時30分~午後5時

■開館時間延長日 /

〈名品展〉金・土曜日は午後8時まで
〈御大典記念 特別展「よみがえる正倉院宝物
-再現模造にみる天平の技-」〉
金曜日は午後7時まで
※いずれも、入館は閉館の30分前まで

■休館日 / 毎週月曜日

※ただし5月4日(月・祝)は開館

★無料観覧日(名品展のみ) / 5月19日(祝)
(国際博物館の日が休館日のためその翌日)

■観覧料金 名品展・特別陳列・特集展示

	一般	大学生
個人(当日)	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生及び教職員の方は無料です。

※開館時間延長日の午後5時以降に観覧される方は一般100円引き、大学生50円引きとします(レイト割引)。

※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は一般100円引き、大学生50円引きとします(親子割引)。

■観覧料金 特別展「よみがえる正倉院宝物」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,500円	1,000円	500円
団体・前売	1,300円	800円	300円

※団体は20名以上です。

※前売券の販売は4月17日(金)までです(前売券は当館観覧券売場のほか、各種プレイガイド等で販売します。詳しくは展覧会チラシ、ホームページ等をご確認ください)。

※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生の方は当日券が400円、教職員の方は当日券が団体料金となります。

※この料金で、名品展(なら仏像館・青銅器館)も観覧できます。



●バス停

[交通案内]近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。